



2023年4月24日

各 位

会社名 株式会社 ジーニー
代表者名 代表取締役社長 工藤 智昭
(コード番号：6562 東証グロース)
問合せ先 上級執行役員(CFO)兼 菊川 淳
投資戦略部部长
(TEL. 03-5909-8177)

GENIEE SFA/CRM、ChatGPTを利用した 議事録の自動要約機能をリリース

本日、当社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下ジーニー）は、自社開発の営業管理ツール「GENIEE SFA/CRM」において、ChatGPTの活用による大幅な利便性向上のための機能をリリースすることを決定いたしました。

第1弾として、SFA/CRM内に登録された議事録等のテキストデータをChatGPTで自動要約する機能をリリースいたします。今後も「GENIEE SFA/CRM」に、ノーコードで企業の業務効率化につながるAIを活用した機能を随時リリースしていく予定です。

記

1. リリースの背景

2022年11月にOpenAI社よりリリースされた「ChatGPT」は、全世界でリリース後わずか2か月で月間1億ユーザーを獲得するなど、非常に注目を集めています。革新的な技術により今後のビジネス領域を大きく変化させると言われているものの、AIに指示を出すための「プロンプト」と呼ばれる命令文の設計や自社データのインプットが難しいなど、ビジネス現場や組織で活用するには工夫や知識が必要でした。

そこで、ジーニーではノーコードで設計や活用ができる自社開発の営業管理ツール「GENIEE SFA/CRM」とChatGPTを組み合わせることで、プロンプトやプログラミングなどの専門的な知識やスキルが一切不要でAIを活用できる機能の提供を開始いたします。これにより、様々な企業において日々の業務効率が圧倒的に改善するほか、データ自動分析やAIによるサジェスション等により、業界内での競争力向上につなげることが期待できます。なお、本機能の利用のために個人がChatGPTアカウントを取得する必要はありません。

実現用途の例として、議事録の要約/翻訳/見積メールやメルマガ文面の自動生成/BANT情報の自動抽出など多岐に渡ります。

ジーニーは今後も営業/顧客データを活用した生産性/売上向上を実現すべく、機能を順次リリースしてまいります。

2. 今後の当社業績の見通し

本件による、2024年3月期の当社連結業績への影響は、軽微であると見込んでおります。

以上



今後GENIEE SFA/CRMでできるようになる機能（予定）



記録された顧客とのやりとりを要約



見込み顧客の受注確度を予測



BANT情報を特定&自動抽出



商談の内容を傾向別に分類



ChatGPT×SFAの機能開発でこのほかにもまだまだできることが増える